

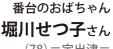
1\_ お披露目された風呂絵は、御旅所から宇出津湾を望み、水平線上に立山連 峰が浮かび上がる。銭湯内には曳山祭やあばれ祭などの昔懐かしい写真も展 示された。2\_テープカットの後に披露された巫女舞。たくさんの見物人を前 に、小学生4人が見事に舞った。3\_イベントを締めくくったのは、青年会会 員にもメンバーが多い弥栄太鼓。 **4**\_小学生のダンスチーム「スマイルファク トリー」もダンスを披露した。5\_沢の湯前の広場では、青年会会員によって イカ焼きや綿菓子などが無料で振る舞われた。6\_大棚木獅子舞も駆けつけて、 風呂絵の完成を祝った。









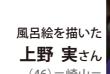


(78)=宇出津

地元の皆さんにずっと沢の湯を愛して もらって感謝と感激でいっぱいです。小 さいころから見てきた子どもたちが、立 派な青年になって、こんなことをしてく れました。78歳ですがこれからも頑張 らなくてはという気持ちになりました。



高校卒業までお世話になった銭湯。地 元に戻ってきても、おばちゃんは昔と変 わらず名前を呼んでくれました。仲間の 団結力で大きなことができたし、少しだ け恩返しもできたと思う。これを機に月 に一回は、銭湯に入りに来て欲しい。



青年会のみんなで構図を話し合った り、立山の写真を見ながらの制作で、約 2週間かかりました。初めてペンキを 使って絵を描いたので苦労しましたが、 おばちゃんが喜んでくれてうれしかった し、やって良かったと思っています。



## 地元銭湯の壁画を復活酒垂神社氏子青年会が

氏子青年会(田代信夫会長・会員50人)。 の継承や地域活性化に取り組む酒垂神社 氏子の活動を通して、 地域の伝統文化

現在は三代目の堀川利信さん(80)・せ 前から白く塗られたままだった。 つ子さん(78)夫妻が切り盛りする。昔 湯が酒垂神社前にある『沢の湯』だ。 その活動後によく利用しているという銭 ながらの銭湯だが、風呂の壁は30年以上 湯で語らいの場を持つようになった。 沢の湯は1935 (昭和10) 年に開業。 る「町風呂の会」を結成。活動外でも 青年会有志は、定期的に沢の湯を利用

画の復活を企画。曳山祭で背景画を担当 する上野実さんが、耐水性の合板に立山 (あったなあ) そんな入浴時の会話から、青年会は壁

「そういえば昔、

銭湯の壁に絵が描

合ってほしい」とあいさつした。 連峰を望む宇出津湾を描いた。 して、銭湯を通じて地域の人が関わり 9月19日に開催されたお披露目イベン 田代会長は「銭湯の良さを再発見 地元住民ら約30 人が詰めか

には、

入って交流する銭湯は、 子どもからお年寄りまで、 の原点。「裸の付き合い」 地域コミュニ 同じ風呂に